



# 平成30年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月6日

上場会社名 株式会社 フェリシモ

上場取引所 東

コード番号 3396 URL <http://www.felissimo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢崎 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 宮本 孝一

TEL 078-325-5555

四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	14,300	7.8	461		499		494	
29年2月期第2四半期	15,512	9.9	87		279		296	

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 492百万円 ( %) 29年2月期第2四半期 312百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	71.16	
29年2月期第2四半期	35.10	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	28,810	15,395	53.4
29年2月期	29,062	14,899	51.3

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 15,392百万円 29年2月期 14,899百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		0.00	0.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,197	2.3	631		674		661		95.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	10,043,500 株	29年2月期	10,043,500 株
期末自己株式数	30年2月期2Q	3,093,802 株	29年2月期	3,093,756 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	6,949,736 株	29年2月期2Q	8,438,026 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
3. 補足情報 .....	8
販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年3月1日～平成29年8月31日)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続かなかで、個人消費や設備投資も持ち直しの動きを見せ、景気は緩やかな回復基調が続いていました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、主力事業である定期便(コレクション)事業において顧客との共感をベースにした価値の提供と継続的な関係性を軸とした「クラスターマーケティング」への転換を進め、事業構造の改革と収益力の回復に取り組んでまいりました。また、新規事業においては、地域創生に関する他社向けの物流・EC支援事業の拡大に取り組んでまいりました。

定期便(コレクション)事業では、ライフスタイルを提案するインテリア・収納部門、毎日の生活にユーモア溢れる商品を提供するユーモア部門が前年同期と比べて売上げを伸ばしました。他方、その他の生活雑貨部門や、ファッション部門の売上げは、前年同期に比べて減少いたしました。

顧客数につきましては、ウェブを中心としたコミュニケーション活動やショッピングアプリのリリース、広告施策の強化等により、新規顧客の獲得数は増加いたしました。また、休止顧客に対する属性に応じた郵送及びメールDM等による効果的なアプローチにより、復活顧客数も好調に推移しております。しかしながら、課題である継続顧客数をカバーするところまでは至らず、定期便(コレクション)事業の延べ顧客数は前年同期と比べて減少いたしました。

新規事業の分野では、ファッションブランド「haco!(ハコ)」及び地域創生の流れに沿ったダイレクトマーケティング支援事業が前年対比で売上げを伸ばしました。

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、14,300百万円(前年同期比7.8%減)となりました。売上高が前年同期を下回ったのは、主に当期間中の定期便(コレクション)事業の延べ顧客数が前年同期を下回ったことによるものです。売上高の減少により、返品調整引当金繰入額及び戻入額調整後の売上総利益は7,622百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、前期末に固定資産の減損損失を計上したことによる減価償却費の減少及び広告費等の経費の見直しにより、7,161百万円(前年同期比14.3%減)となりました。販売費及び一般管理費の減少等により、営業利益は461百万円(前年同期は営業損失87百万円)となりました。

営業外損益では、受取家賃を含む営業外収益が51百万円に対して為替差損等の営業外費用が12百万円となり、経常利益は499百万円(前年同期は経常損失279百万円)となりました。税金等調整前四半期純利益は499百万円(前年同期は税金等調整前四半期純損失286百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は494百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失296百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、売上高の減少に伴う売掛金の減少等により前連結会計年度末と比べ251百万円減少し、28,810百万円となりました。

負債合計は、仕入債務等の減少等により前連結会計年度末と比べ747百万円減少し、13,414百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により前連結会計年度末と比べ496百万円増加し、15,395百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて435百万円減少し、15,436百万円となりました。

営業活動の結果増加した資金は23百万円(前年同期比96.2%減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上499百万円及び売上債権の減少273百万円に対し、仕入債務の減少658百万円となったことによるものであります。

投資活動の結果減少した資金は425百万円(前年同期比64.9%減)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出374百万円によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は18百万円(前年同期比99.3%減)となりました。これは主にリース債務の返済による支出21百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の予想につきましては、平成29年4月10日に開示いたしました前回予想からの修正はありません。当第2四半期連結累計期間において、利益は計画を上回って推移しておりますが、第3四半期以降の計画値に対して今後の受注の動向等不透明な部分もあり、現時点における通期の業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,385	19,061
売掛金	2,785	2,511
信託受益権	544	423
商品	4,151	4,102
貯蔵品	65	63
その他	449	581
貸倒引当金	△38	△37
流動資産合計	27,343	26,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	0	64
土地	1,291	1,291
その他(純額)	0	30
有形固定資産合計	1,291	1,386
無形固定資産		
	1	314
投資その他の資産		
投資有価証券	168	177
その他	257	224
投資その他の資産合計	425	402
固定資産合計	1,718	2,103
資産合計	29,062	28,810
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,549	1,439
電子記録債務	1,392	1,319
支払信託	2,670	2,195
未払法人税等	17	33
販売促進引当金	219	241
賞与引当金	150	163
その他の引当金	135	61
その他	1,584	1,435
流動負債合計	7,720	6,889
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
退職給付に係る負債	3,080	3,127
その他	361	397
固定負債合計	6,442	6,524
負債合計	14,162	13,414

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,842	4,842
利益剰余金	11,457	11,952
自己株式	△3,033	△3,033
株主資本合計	15,135	15,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	20
繰延ヘッジ損益	10	0
退職給付に係る調整累計額	△259	△258
その他の包括利益累計額合計	△235	△236
非支配株主持分	—	3
純資産合計	14,899	15,395
負債純資産合計	29,062	28,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	15,512	14,300
売上原価	7,276	6,762
売上総利益	8,235	7,538
返品調整引当金戻入額	80	125
返品調整引当金繰入額	49	40
差引売上総利益	8,267	7,622
販売費及び一般管理費	8,354	7,161
営業利益又は営業損失(△)	△87	461
営業外収益		
受取利息	13	8
受取家賃	6	15
受取補償金	4	5
その他	30	21
営業外収益合計	54	51
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	223	11
その他	23	0
営業外費用合計	246	12
経常利益又は経常損失(△)	△279	499
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△286	499
法人税、住民税及び事業税	5	5
法人税等調整額	4	—
法人税等合計	9	5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△296	494
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△296	494

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△296	494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	6
繰延ヘッジ損益	5	△9
為替換算調整勘定	△65	—
退職給付に係る調整額	42	1
その他の包括利益合計	△16	△1
四半期包括利益	△312	492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△312	492
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△286	499
減価償却費	707	28
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損益(△は益)	6	—
引当金の増減額(△は減少)	8	△40
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	81	48
受取利息及び受取配当金	△13	△8
支払利息	—	0
為替差損益(△は益)	160	31
売上債権の増減額(△は増加)	666	273
たな卸資産の増減額(△は増加)	68	50
仕入債務の増減額(△は減少)	△492	△658
未払金の増減額(△は減少)	△124	△77
その他	△116	△120
小計	666	27
利息及び配当金の受取額	17	12
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△50	△14
営業活動によるキャッシュ・フロー	633	23
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,388	△4,071
定期預金の払戻による収入	3,434	4,065
有形固定資産の取得による支出	△53	△46
無形固定資産の取得による支出	△205	△374
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,212	△425
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△21	△21
自己株式の取得による支出	△2,648	△0
非支配株主からの払込みによる収入	—	3
配当金の支払額	△49	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,718	△18
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	△15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,427	△435
現金及び現金同等物の期首残高	15,827	15,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,399	15,436

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 補足情報

販売の状況

販売実績

品目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)			当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)		
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	構成比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	構成比 (%)
服飾・服飾雑貨	10,842	90.8	69.9	9,954	91.8	69.6
生活関連	3,960	90.7	25.5	3,738	94.4	26.1
その他	708	79.0	4.6	607	85.7	4.3
合計	15,512	90.1	100.0	14,300	92.2	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。